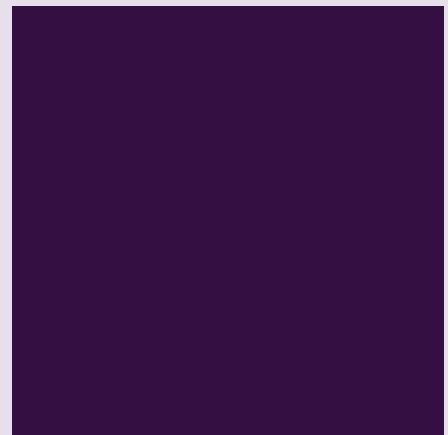
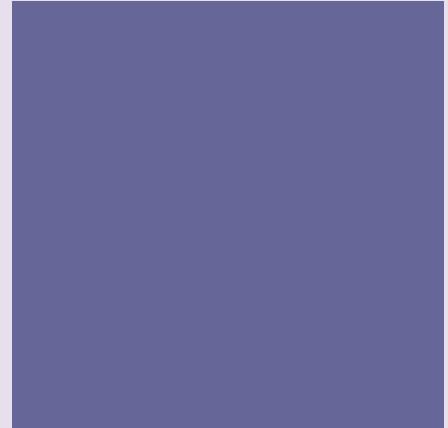
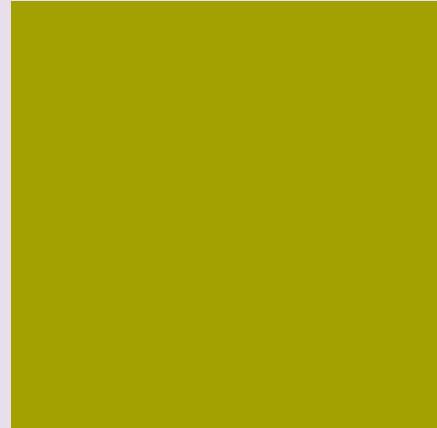


+

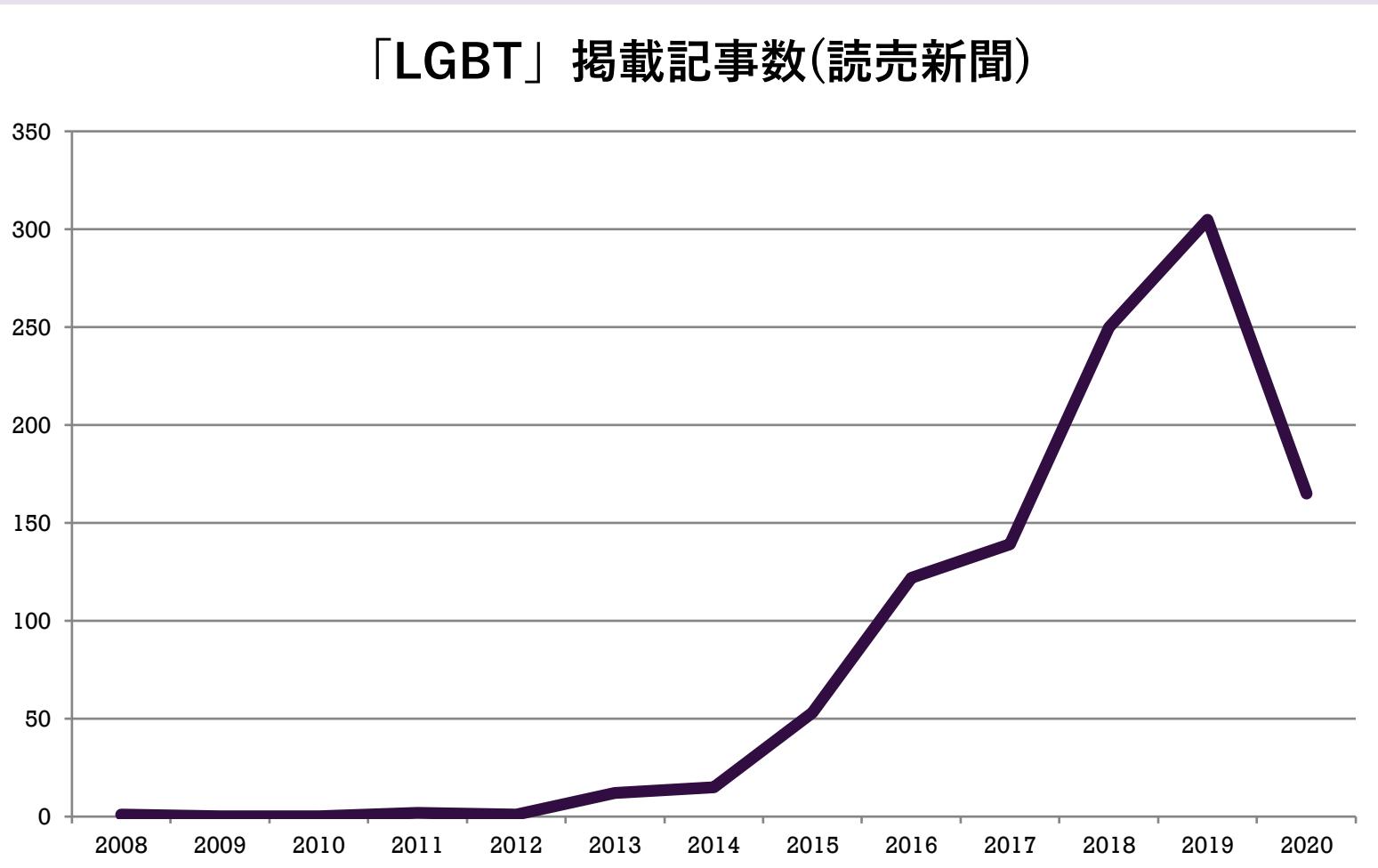


# セクシュアルマイノリティの基礎知識

2021年1月22日

ダイバーシティ就労支援機構ヒアリング  
早稲田大学文学学術院 森山至貴

# 「LGBT」ブーム



# 「LGBT」 = 「セクシュアルマイノリティ」？

## ■ セクシュアル・マイノリティ(性的マイノリティ・性的少数者)

LGBTとは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの4つの言葉の頭文字を併せた言葉です。直接には、この4つのセクシュアリティ(性のあり方)を一括して表しています。広い意味では、マイノリティ(少数派)の対語であるマジョリティ(多数派)以外のすべての性的マイノリティを包括して表すばあいもあります。

(薬師実芳・笹原千奈未・古堂達也・小川奈津己, 2014, 『LGBTってなんだろう?—からだの性・こころの性・好きになる性』合同出版.)

# 広辞苑の中の「LGBT」

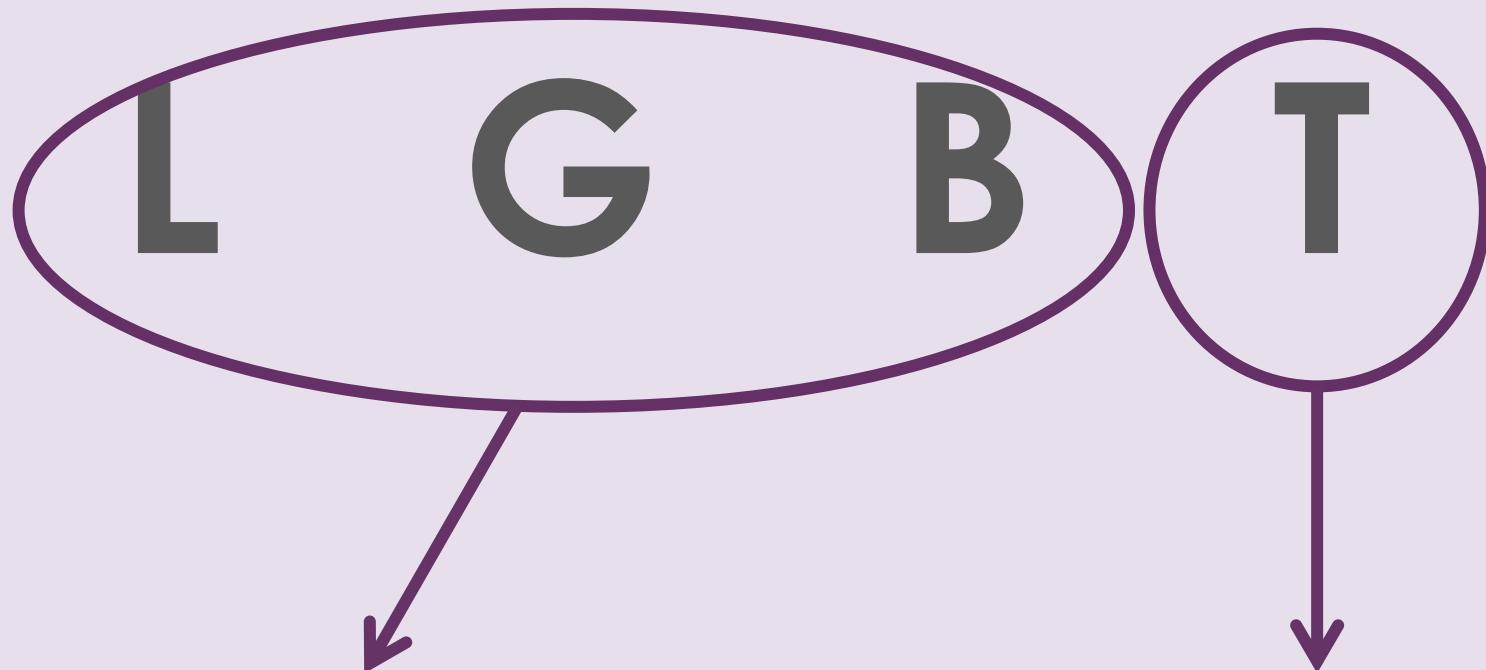
## ■ 広辞苑(第7版)中の「LGBT」の記述

(レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの頭文字) 多数派とは異なる性的指向をもつ人々。GLBT

## ■ 訂正版

1. レズビアン・ゲイ・バイセクシャルおよびトランスジェンダーを指す語。  
GLBT
2. 広く、性的指向が異性愛でない人々や、性自認が誕生時に付与された性別と異なる人々。

LGBT=LGB + T



性的指向に関係する

性自認に関係する

# 性的指向と性自認

## ■性的指向 (Sexual Orientation)

自分がどの性別の人間に対して性的欲望や恋愛感情を感じるかに関する自己認識

- ✓ 必ず「異性」に向くとはかぎらない

## ■性自認(Gender Identity)

自分自身の性別に関する自己認識

- ✓ いわゆる「生物学的性別」と重なるとはかぎらない
- ✓ そもそも性自認が「男」「女」のいずれかであるとは限らない。  
(性別は男女の二種類しかないという考え方=**性別二元論**)

# L・G・Bって何？

- **Lesbian**(レズビアン)...女性同性愛者
- **Gay**(ゲイ)...男性同性愛者
- **Bisexual**(バイセクシュアル)...両性愛者 の頭文字

- ◆ 異性愛者はHeterosexual(ヘテロセクシュアル)
- ◆ 同性愛者はHomosexual(ホモセクシュアル)

- **Asexual**(アセクシュアル)...無性愛者

# 「生物学的性別」？

## ■ 「生物学的」には性別は2つ？

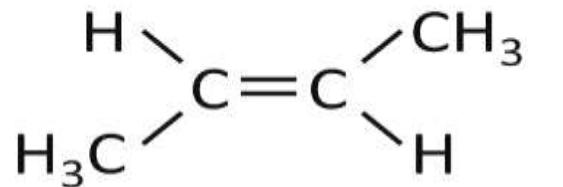
性分化に関する生物学的研究は、性別は異なる複数の要素において分化していると解明

- すべての要素において「男」「女」と一貫して判定される場合ばかりではない
  - 個々の要素には「男」「女」の二元論的な判定では不十分なものもある
  - 「生物学的性別」は医師が判断する
  - 多くの場合、この性別に基づいてその後の人生でも性別を割り当てられ続ける
- ## ■ 正確を期するため、現在では「出生時に割り当てられた (assigned)性別」と表現する

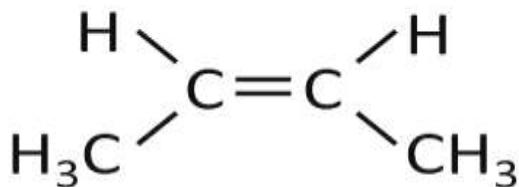
# トランスジェンダー

■出生時に割り当てられた性別と異なる性自認を持つ人を**トランスジェンダー**(Transgender)と呼ぶ

- ▶ 出生時に割り当てられた性別と同じ性自認を持つ人を**シスジェンダー**(cisgender)と呼ぶ
- ▶ 「移行」を意味する「trans」がまず用いられ、続いて化学由来の「cis」が流用された



トランス体



シス体

# 補足：性同一性障害とは？

## ■性同一性障害(Gender Identity Disorder)

出生時に割り当てられた性別に対する違和  
が強い人の状態を表す医療概念

すべてのTransgenderが  
性同一性障害の「患者」なわけではない

多様な性のあり方は病気や障害では  
ないとの考えが世界的に主流

# SOGI

■現在では、性的指向と性自認をあわせて  
**SOGI(ソギorソジ)** と呼ぶことがある。

- ✓ 「LGBT」や「性的少数者」「セクシュアルマイノリティ」「性的マイノリティ」といった言葉とことなり、マジョリティを含めて性の多様性を指すことができる利点がある。

# 性の多様性を4要素から考える

- 性的指向
- 性自認
- 出生時に割り当てられた性別
- 性表現

「性別」にまつわる4つの要素を使って  
性の多様性を表すことが現在では一般的

ただし、ほかの方法や枠組みで性の多様性  
について考えることももちろん可能

# 性の多様性と人権

- 国際連合人権理事会にSOGIに関する決議が採択
  - 「世界の全ての地域において、性的指向およびジェンダー同一性を理由として個人に対して行われる暴力と差別の全ての行為に重大な懸念を表明」
  - SOGIに関する差別的法律および暴力行為について研究
  - 国際人権法による人権侵害の阻止について研究
  - 建設的で学識のある率直な対話実施の決定
- 日本もこの決議には賛成している

# 性の多様性に関する国内法(1)

## ■ 差別禁止法

- 性的指向、性自認、インターフェックスステータス、正表現などを理由とする差別を禁止
- 「人権法」「平等法」などとも
- 信条や宗教、政治的思想、人種、ジェンダー、国籍、婚姻関係などと並列になっている場合も

日本には包括的な差別禁止法は存在しない



# 性の多様性に関する国内法(2)

## ■ 同性婚に関する法律

- 結婚／登録パートナーシップ制度

日本では同性婚は認められていない

## ■ トランスジェンダーに関する法律

- 身分証明書などの性別変更
- 各種性別欄におけるXジェンダーの選択可能性

日本では戸籍上の性別変更は可能だが、性別適合手術要件は国際的な批判の対象

# 「家族弱者」としての セクシュアルマイノリティ

- セクシュアルマイノリティと「家族」
  - 定位家族の受容を得られない
  - 就労の困難による家族形成のハードルの高さ
  - 婚姻と親子関係に関する法整備の不足
- 障害者、エスニックマイノリティなどにも同種の問題
  - 社会的弱者とは「家族弱者」である

多様な属性の交差= インターセクショナリティ  
に着目し社会的差別を考える視座の重要性